

「認知症支援策に係るアンケート」調査結果の概要について

平成 25 年 3 月 5 日

千葉大学医学部附属病院
高齢社会医療政策研究部

千葉大学医学部附属病院千葉県寄附研究部門高齢社会医療政策研究部では、千葉県内市町村の認知症支援策担当の皆様から御協力いただき、アンケート調査を実施しました。御回答をくださった皆様に感謝を申し上げますとともに、その結果を次のとおり取りまとめましたので、参考までにお知らせします。

1 調査結果の概要

- (1) 県内54市町村のうち、回答があったのは42自治体(回収率:77.8%)でした。
- (2) 回答のあった全自治体において、介護保険事業計画に認知症支援策が記載されていました。そのうち、基本目標や重点課題等に認知症支援策を位置づけていたのは34自治体(81.0%)でした。
- (3) 主な認知症支援策のうち、多くの自治体で取り組まれているのは、多い順に「本人・家族からの相談(相談窓口:コールセンター、保健センター、地域包括支援センター等)」(40自治体、95.2%)、「認知症サポーターの養成」(39自治体、92.9%)、「予防教室・講演等」「成年後見制度利用支援」(いずれも35自治体、83.3%)でした。
- (4) 今後の認知症支援策の方向性に関しては、「国や県、他市町村の動向を注視しており、引き続き情報収集をしながら検討していきたい。」が最多回答(27自治体、64.3%)でした。
- (5) 自治体と医療関係者との連携に関しては、必要性を感じていない自治体はありませんでしたが、「連携は必要だと思うが、あまりしていない。(具体的に何をしたらよいかわからない、地域の医師会等とのパイプがない等を含む。)」(21自治体、50%)が最多回答であり、「関係事業に参画を得たり、医療者の取組みを支援したり、随時意見交換をしたりするなど円滑に連携している。」(13自治体、31.0%)を上回りました。
- (6) 認知症支援策に関して医療関係者に最も望むことは、多い順に「市町村の施策実施への協力」(21自治体、50%)、「医療関係者の自主的な取組み(医療関係者間の連携促進等医療提供体制の充実)」(11自治体、26.2%)、「市町村の施策立案への協力」(5自治体、11.9%)でした。

2 アンケート調査の概要

(1) 調査方法

調査票を手渡し(*1)、又は郵送(*2)により配付し、ファクシミリまたは電子メールによる回答を依頼しました。なお、回答期限は平成25年2月22日としました。

また、2月25日には、回答未着の市町村に対し、ファクシミリにより、再度回答を依頼しました。

*1 2月1日開催の「第4回『Project Health 2020』推進のための意見交換会」において、参加16市の担当者様へ直接調査票をお渡ししました。

*2 上記意見交換会を欠席した市町村(38市町村)に対し、意見交換会の資料とともに調査票を郵送しました。

(2) 調査票回収状況

表1 調査票回収状況

対象自治体数 (A)	回答自治体数 (B)	調査票回収率 (B/A)
54	42	77.8%

(平成25年3月4日現在)

3 調査結果

設問1 貴市町村における現在の介護保険事業計画では、認知症支援策の充実について記載されていますか。

表2 介護保険事業計画上の認知症支援策の位置づけ

(n=42)

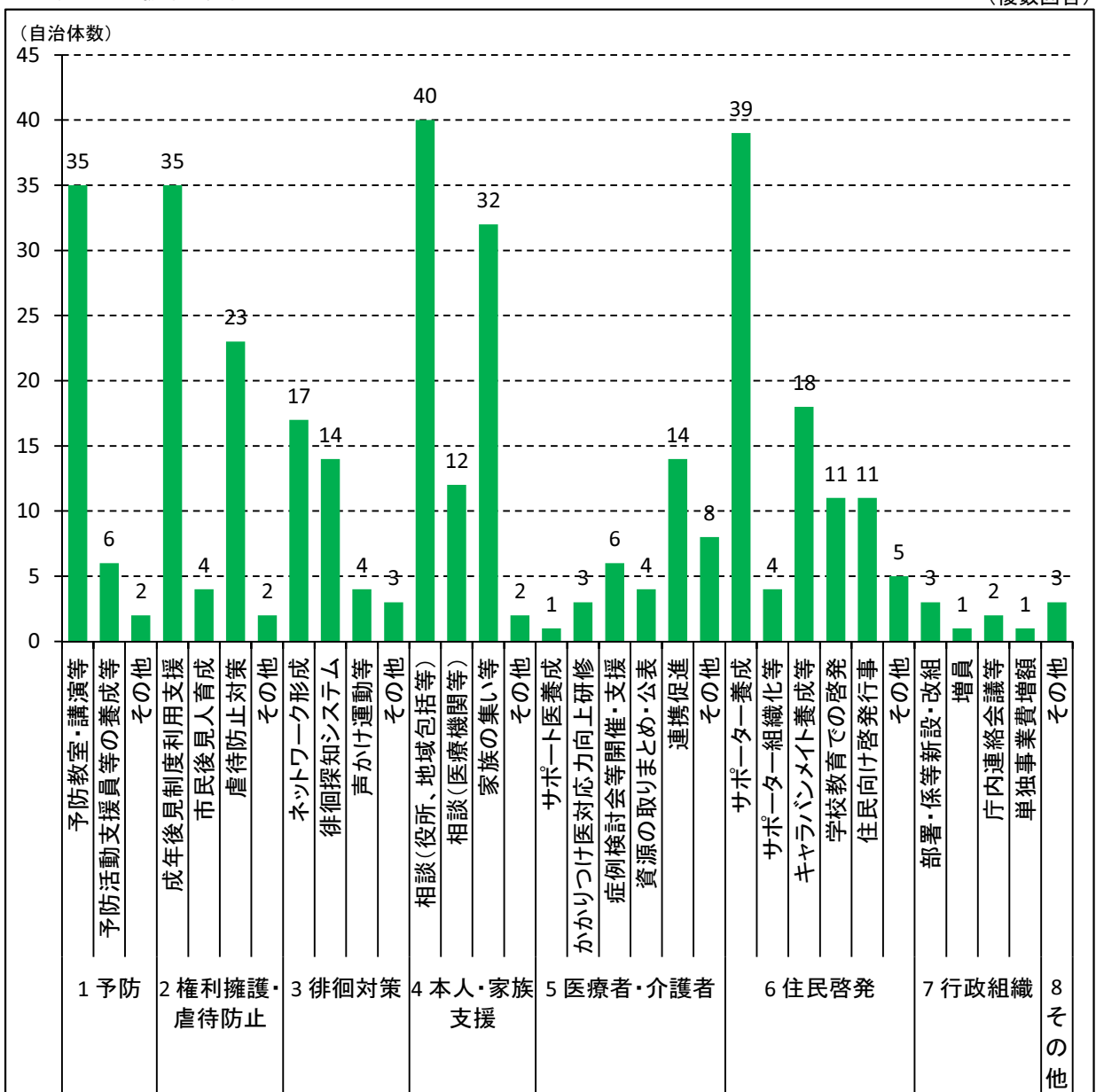
選択肢(冒頭の番号は、表3の番号に対応しています。)	自治体数	割合
1:記載しており、基本目標や重点課題等のひとつとしても位置付けている。	34	81.0%
2:記載しているが、基本目標や重点課題等とは位置付けていない。	8	19.0%
3:記載していない。	0	0.0%

市町村別の回答状況については、表3を参照してください。

設問2 貴市町村において、平成24年度に実施している(実施予定のある)認知症支援策を教えてください。(介護サービスを除く。)

図1 認知症支援策の実施状況

(複数回答)



上記の項目は、実際の選択肢の一部を省略して記載しています。実際の選択肢については、8ページ以降を参照してください。

自治体別の回答状況については、表3を参照してください。

表3 自治体別回答状況(1)

設問		千葉市	銚子市	市川市	船橋市	館山市	木更津市	松戸市	野田市	茂原市	佐倉市	東金市	旭市	習志野市	柏市	
設問1 介護保険事業計画上の位置づけ		1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	
設問2 平成24年度実施(予定)の支援策	1 予防	予防教室・講演等	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	
		予防活動支援員等の養成等			○				○			○				
		その他														
	2 権利擁護・虐待防止	成年後見制度利用支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		市民後見人育成	○	○										○		○
		虐待防止対策	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○		○
		その他														○
	3 徘徊対策	ネットワーク形成	○	○		○			○	○		○			○	○
		徘徊探知システム	○	○		○			○	○	○	○			○	○
		声かけ運動等			○				○							
		その他							○							
	4 本人・家族支援	相談(役所、地域包括等)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		相談(医療機関等)	○		○	○				○				○	○	○
		家族の集い等	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
		その他														○
	5 医療者・介護者	サポート医養成	○													
かかりつけ医対応力向上研修		○						○							○	
症例検討会等開催・支援				○	○			○			○				○	
資源の取りまとめ・公表					○			○			○				○	
連携促進			○	○	○		○	○			○			○		
その他		○									○	○		○		
6 住民啓発	サポーター養成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	サポーター組織化等				○					○					○	
	キャラバンメイト養成等	○		○	○				○		○		○	○		
	学校教育での啓発			○	○						○					
	住民向け啓発行事		○	○	○			○			○				○	
	その他															
7 行政組織	部署・係等新設・改組													○		
	増員															
	庁内連絡会議等															
	単独事業費増額															
8 その他	その他									○				○		

表3 自治体別回答状況(1)

設問		勝浦市	市原市	八千代市	我孫子市	鴨川市	君津市	富津市	四街道市	袖ヶ浦市	八街市	印西市	匝瑳市	香取市	山武市		
設問1 介護保険事業計画上の位置づけ		1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1		
設問2 平成24年度実施(予定)の支援策	1 予防	予防教室・講演等	○	○	○	○		○	○	○		○		○	○	○	
		予防活動支援員等の養成等															
		その他															
	2 権利擁護・虐待防止	成年後見制度利用支援		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
		市民後見人育成															
		虐待防止対策			○	○	○	○	○	○		○		○	○		
		その他												○			
	3 徘徊対策	ネットワーク形成			○	○		○			○		○	○			
		徘徊探知システム		○	○	○				○							
		声かけ運動等						○									
		その他										○					
	4 本人・家族支援	相談(役所、地域包括等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		相談(医療機関等)				○	○				○						
		家族の集い等	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○		
		その他						○									
	5 医療者・介護者	サポート医養成															
かかりつけ医対応力向上研修																	
症例検討会等開催・支援										○							
資源の取りまとめ・公表																	
連携促進					○			○	○	○				○			
その他									○								
6 住民啓発	サポーター養成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	サポーター組織化等									○							
	キャラバンメイト養成等			○			○	○	○	○	○	○		○			
	学校教育での啓発				○		○	○	○	○		○					
	住民向け啓発行事	○					○		○								
	その他									○				○			
7 行政組織	部署・係等新設・改組					○					○						
	増員					○											
	庁内連絡会議等																
	単独事業費増額																
8 その他	その他																

網掛けされている項目については、表4に具体的な支援策の内容が記載されています。

表3 自治体別回答状況(1)

設問		いすみ市	大網白里市	栄町	多古町	東庄町	九十九里町	芝山町	横芝光町	一宮町	睦沢町	長生村	白子町	長柄町	鋸南町	
設問1	介護保険事業計画上の位置づけ	2	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	2	
設問2 平成24年度実施(予定)の支援策	1 予防	予防教室・講演等	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		予防活動支援員等の養成等		○								○				○
		その他							○		○					
	2 権利擁護・虐待防止	成年後見制度利用支援	○	○		○	○				○	○	○	○		○
		市民後見人育成														
		虐待防止対策		○						○		○				
		その他														
	3 徘徊対策	ネットワーク形成			○	○						○				
		徘徊探知システム					○									
		声かけ運動等										○				
		その他		○												
	4 本人・家族支援	相談(役所、地域包括等)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
		相談(医療機関等)					○								○	
		家族の集い等		○	○	○	○		○	○	○	○		○		○
		その他														
	5 医療者・介護者	サポート医養成														
		かかりつけ医対応力向上研修														
		症例検討会等開催・支援														
資源の取りまとめ・公表																
連携促進							○							○		
その他	○					○								○		
6 住民啓発	サポーター養成		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
	サポーター組織化等															
	キャラバンメイト養成等								○		○			○		
	学校教育での啓発		○	○												
	住民向け啓発行事		○					○								
	その他	○						○							○	
7 行政組織	部署・係等新設・改組															
	増員															
	庁内連絡会議等				○									○		
	単独事業費増額										○					
8 その他	その他									○						

網掛けされている項目については、表4に具体的な支援策の内容が記載されています。

設問2 貴市町村において、平成24年度に実施している(実施予定のある)認知症支援策を教えてください。(介護サービスを除く。)

表4 自治体別回答状況(2)

項目		自治体名	内容
1 認知症予防関係	その他	芝山町	二次予防事業(複合)の中で実施
		一宮町	認知症サポーター養成講座
2 権利擁護・虐待防止関係	その他	柏市	高齢者権利擁護講演会
		匝瑳市	消費者被害防止
3 徘徊対策関係	その他	松戸市	防災行政無線による行方不明高齢者探索
		八街市	2市1町SOSネットワーク
		大網白里市	一時的な施設への保護措置(徘徊保護)
4 相談・家族支援関係	その他	柏市	認知症介護相談・交流会
		君津市	重度認知症老人介護手当
5 医療者・介護関係者	連携促進	木更津市	近隣市と年1~2回認知症対策連絡協議会に出席。その他、地域包括支援センター職員は勉強会に出席
		松戸市	認知症に関する専門職向け研修会
		佐倉市	協議会の開催
		東金市	医療、ケアマネジャー、行政の連携構築のための会議の実施
		我孫子市	関係機関の交流会を開催
		富津市	認知症サポート医、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了医に講演依頼、及び、連携のための情報交換会
		四街道市	病院ワーカー、施設相談員、在宅ケアマネ、包括職員による意見交換会
		袖ヶ浦市	認知症対策連絡協議会への参加
		香取市	認知症サポート医とケアマネジャーの意見交換会
		長柄町	情報交換
	その他	旭市	若年性認知症対策総合推進事業を通し、連携パス等を作成し、連携に取り組んでいる。
		柏市	認知症ケア専門職研修
		袖ヶ浦市	認知症コーディネーター連絡会への参加
		いすみ市	治療等今後の方針について
		鋸南町	モデル事業の実施
6 住民啓発関係	サポーター組織化等	茂原市	サポーター登録、地域の見守り研修
		柏市	登録サポーターに講演会やイベントの案内
		袖ヶ浦市	ステップアップ研修開催
	その他	袖ヶ浦市	高齢者学級、地区社協行事での啓発
		香取市	フェスタで認知症啓発脳年齢テスト
		いすみ市	広報誌
		芝山町	老人クラブ支え合い研修
		鋸南町	認知症の講演会。毎年開催
8 上記以外	その他	佐倉市	介護マークの普及・配布
		柏市	認知症にやさしいまちづくり会議
		一宮町	役場職員に認知症サポーター養成講座を開催

設問3 国では、認知症の人も住み慣れた地域で暮らし続けられることを重要視しており、「地域包括ケア」「認知症初期集中支援チームの設置」等新たな施策の方向性を打ち出し、市町村の役割にも大きな期待がかけられています。今後の認知症支援策について、貴市町村の考えに最も近いものをひとつ選択してください。

表5 今後の認知症支援策実施の方向性

(n=42)

選択肢	自治体数	割合
国の方向性に沿った形で支援策をさらに充実させる予定であり、まずは現状の枠組み(組織、予算、制度等)の中で対応していきたい。	12	28.6%
国の方向性に沿った形での支援策のさらなる充実に取り組みたいが、現状の枠組み(組織、予算、制度等)のままでは制約が大きく、枠組みの見直しが必要だ。	1	2.4%
国とは異なった方向性や枠組みでの対応が必要だ。	0	0.0%
国や県、他市町村の動向を注視しており、引き続き情報収集をしながら検討していきたい。	27	64.3%
現状の支援策で十分対応できており、当面、変更する必要がない。	0	0.0%
その他	1	2.4%
無回答	1	2.4%

《その他の内容》

- ・現状の支援策ではほぼ対応できている。(直営の地域包括支援センターが中心となって)

設問4 認知症支援策を充実していくためには、福祉関係者だけではなく、医療関係者との連携が必要な場合も多いと思われます。認知症支援策に係る貴市町村における医療関係者との連携の状況(個別のケース対応を除く。)について、最も近いものをひとつ選択してください。

表6 医療関係者との連携状況

(n=42)

選択肢	自治体数	割合
関係事業に参画を得たり、医療者の取組みを支援したり、随時意見交換をしたりするなど円滑に連携している。	13	31.0%
連携は必要だと思うが、あまりしていない。(具体的に何をしたらよいかわからない、地域の医師会等とのパイプがない等を含む。)	21	50.0%
連携する必要性を感じていない。	0	0.0%
その他	8	19.0%

《その他の内容》

- ・地域の医師等も参加する認知症対策連絡協議会(年1~2回)に出席。
- ・今後、認知症疾患医療センターや医師会との意見交換を通して連携を図っていきたい。
- ・必要なケースに対し、随時医療機関と連絡調整を行い、連携している。
- ・連携は必要だと思う。認知症疾患医療センターとはモデル事業により意見交換の機会が増えて来ている。市内医療機関とは、介護サービス事業者を対象とする医師講演会と情報交換会を開始したところ。
- ・認知症疾患医療センターを通じての連携はできているが、医師会との連携体制が不十分である。
- ・認知症サポート医との連携
- ・「〇〇地区認知症・介護を考える会」が医師会で設立されており、行政関係者も会員となっている。行政は世話人会としても位置付けられている。
- ・すでに医療関係者とは、その度、連携をとっています。

設問5 現在、認知症支援策に関して医療関係者に最も望むこと(具体的な医療の提供を除く。)は何ですか。最も近いものをひとつ選択してください。

表7 医療関係者に最も望むこと(具体的な医療の提供を除く。)

(n=42)

選択肢	自治体数	割合
市町村の施策立案への協力	5	11.9%
市町村の施策実施への協力	21	50.0%
医療関係者の自主的な取組み(医療関係者間の連携促進等医療提供体制の充実)	11	26.2%
医療関係者の自主的な取組み(予防や住民啓発活動等)	2	4.8%
特になし	1	2.4%
その他	2	4.8%

《その他の内容》

- ・(「市町村の施策実施への協力」と「医療関係者の自主的な取組み(医療関係者間の連携促進等医療提供体制の充実)」の両方を選択。)
- ・早期の診断・対応、激しい周辺症状への対応の充実を図って頂きたいと思います。

参考：アンケート調査票

送付先 ファクシミリ：043-226-2739、電子メール：kourei-iryuu@chiba-u.jp
回答締切 平成25年2月22日（金）

各市町村認知症支援策担当者 様

千葉大学医学部附属病院高齢社会医療政策研究部

認知症支援策に係るアンケート調査について（依頼）

今後の参考とするため、アンケート調査に御協力ください。結果については、後日取りまとめの上、市町村及び県の御担当者様に提供する予定です。（問3以降は市町村名を伏せて集計します。）

認知症支援策に係るアンケート

回答方法

- ・ 該当する□に✓を記入してください。（ ）内には、事業内容や御意見等を記入してください。
- ・ ファクシミリ送信又は電子メール送信により御回答ください。その際、送付状等の添付は不要です。

設問1 貴市町村における現在の介護保険事業計画では、認知症支援策の充実について記載されていますか。

- 記載しており、基本目標や重点課題等のひとつとしても位置付けている。
- 記載しているが、基本目標や重点課題等とは位置づけていない。
- 記載していない。

設問2 貴市町村において、平成24年度に実施している（実施予定のある）認知症支援策を教えてください。（介護サービスを除く。）

1. 認知症予防関係

- 予防教室・講演等 予防活動支援員等の養成・派遣等
- その他予防関係（内容： ）

2. 権利擁護・虐待防止関係

- 成年後見制度利用支援 市民後見人育成 虐待防止対策
- その他権利擁護・虐待防止関係（内容： ）

3. 徘徊対策関係

- 警察・企業等とのネットワーク形成 徘徊探知システム 声かけ運動等（啓発）
- その他徘徊対策（内容： ）

4. 相談・家族支援関係

- 本人・家族からの相談（相談窓口：コールセンター、保健センター、地域包括支援センター等）
- 本人・家族からの相談（相談窓口：医療機関、専門医等）
- 家族の集い開催、家族会の支援、介護教室開催等
- その他相談・家族支援関係（内容： ）

5. 医療者・介護者関係

- 認知症サポート医養成研修 かかりつけ医認知症対応力向上研修
- 症例検討会・研究会等の開催・支援 地域の医療・介護資源の取りまとめと公表
- 医療・介護関係者（施設）間の連携促進（内容： ）
- その他の医療・介護関係者との連携（内容： ）

次ページへつづく

市町村名：

6. 住民啓発関係

- 認知症サポーターの養成 認知症サポーターの組織化・活動支援・活用
 (内容: _____)
- キャラバンメイトの養成・活動支援 学校教育での啓発
- 住民向け啓発行事の開催 その他啓発関係 (内容: _____)

7. 行政組織関係

- 担当部署・係等の新設・改組 担当部署・係等の増員
- 庁内関係課による連絡会議等の運営 市町村単独事業費(当初予算ベース)の増額

8. 上記以外

- その他 (_____)

設問3 国では、認知症の人も住み慣れた地域で暮らし続けられることを重要視しており、「地域包括ケア」「認知症初期集中支援チームの設置」等新たな施策の方向性を打ち出し、市町村の役割にも大きな期待がかけられています。今後の認知症支援策について、貴市町村の考えに最も近いものをひとつ選択してください。

- 国の方向性に沿った形で支援策をさらに充実させる予定であり、まずは現状の枠組み(組織、予算、制度等)の中で対応していきたい。
- 国の方向性に沿った形での支援策のさらなる充実に取り組みたいが、現状の枠組み(組織、予算、制度等)のままでは制約が大きく、枠組みの見直しが必要だ。
- 国とは異なった方向性や枠組みでの対応が必要だ。
- 国や県、他市町村の動向を注視しており、引き続き情報収集をしながら検討していきたい。
- 現状の支援策で十分対応できており、当面、変更する必要がない。
- その他 (_____)

設問4 認知症支援策を充実していくためには、福祉関係者だけではなく、医療関係者との連携が必要な場合も多いと思われます。認知症支援策に係る貴市町村における医療関係者との連携の状況(個別のケース対応を除く。)について、最も近いものをひとつ選択してください。

- 関係事業に参画を得たり、医療者の取組みを支援したり、随時意見交換をしたりするなど円滑に連携している。
- 連携は必要だと思うが、あまりしていない。(具体的に何をしたらよいかわからない、地域の医師会等とのパイプがない等を含む。)
- 連携する必要性を感じていない。
- その他 (_____)

設問5 現在、認知症支援策に関して医療関係者に最も望むこと(具体的な医療の提供を除く。)は何ですか。最も近いものをひとつ選択してください。

- 市町村の施策立案への協力 市町村の施策実施への協力
- 医療関係者の自主的な取組み(医療関係者間の連携促進等医療提供体制の充実)
- 医療関係者の自主的な取組み(予防や住民啓発活動等) 特にない
- その他 (_____)

～ 御協力ありがとうございました ～

市町村名		所属名	
職・氏名			
電 話		メ ー ル	